



1.3

- [Cisco Spaces の概要 \(1 ページ\)](#)
- [リリース 1.3 の新機能 \(1 ページ\)](#)
- [リリース 1.3 の機能強化 \(3 ページ\)](#)
- [問題 \(4 ページ\)](#)

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、物理的なビジネス拠点で訪問者をつなぎ、連携できるようにするマルチチャネル エンゲージメント プラットフォームです。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業種のビジネスを対象としています。Cisco Spaces は、施設内の資産を監視および管理するためのソリューションも提供します。Cisco Spaces は、これらの情報を実行に移すためのさまざまなツールキット、アプリ、および API を提供します。

このリリースの主な機能は次のとおりです。

- 従業員やその他のリソースに関する役立つ情報を得るための、Workspaces の行動メトリクス。
- Cisco CMX テザリングの AP 同期サポート。
- エンタープライズ キャプティブ ポータルのサポート (ランタイム)。
- サブスクリイバー管理 (ランタイム) のリセット API のセキュリティが強化されました。
- 適切なナビゲーション (ランタイム) を持つ視覚障がい者向けのアクセシビリティサポート。

リリース 1.3 の新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに、次の新機能が追加されました。

[Workspaces] 分野（行動メトリクス）

行動メトリクス機能は、新しい分野「Workspace」を提供できるようになりました。Workspace 分野を使用すると、従業員や、オフィス敷地内の訪問者などのその他のリソースに関する情報を得ることができます。

Workspace の行動メトリクスセクションは、他の分野とは異なります。次の情報が含まれます。

コア指標

就業時間：従業員の就業時間。

Workday Presence：従業員が施設内で費やした就業日の割合。

Workday Density：ワークスペース内の従業員の密度。

Occupancy Rate：規定工数に対する実工数の割合。

上記のすべてのタイプのレポートでは、ロケーション全体のデータと主要な場所のデータを含む個別のグラフが提供されます。

診断

入社時間：従業員の平均入社時間。ロケーション全体および主要なロケーションでの入社時間の傾向が表示されます。

退社時間：従業員の平均退社時間。ロケーション全体および主要なロケーションでの退社時間の傾向が表示されます。

入社時間分布：さまざまな入社時間範囲に該当する従業員の数。

退社時間の分布：さまざまな退社時間範囲に該当する従業員の数。

従業員の滞在（時間別）：1日のさまざまな時間帯にその拠点に滞在する従業員の数。

訪問者の滞在（時間別）：1日のさまざまな時間帯にその拠点に滞在する訪問者の数。

従業員の滞在（曜日）：週のさまざまな曜日にその拠点に滞在する従業員の数。

訪問者の滞在（曜日）：週のさまざまな曜日にその拠点に滞在する訪問者の数。

訪問者指数（訪問者数）：従業員の割合としての訪問者。ロケーション全体の訪問者インデックスと、主要なロケーションの訪問者インデックスについて、個別のグラフが表示されます。

CMX テザリングの AP 同期サポート

Cisco Spaces ネットワーク同期サーバーは、CMX テザリングの AP 同期をサポートするようになりました。CMX テザリング（[Add a Wireless Network] オプションで [CMX On Prem] を使用）の場合、Cisco Prime で AP に加えられた変更は、Cisco Spaces のロケーション階層で更新されるようになりました。AP の変更を同期するには、次のいずれかを実行します。

- Cisco CMX On-Prem で、[SYSTEM] をクリックします。表示されるダッシュボードで、[Settings] > [Controllers and Maps Setup] > [Import] を選択します。表示されるウィンドウで、Cisco Prime のユーザー名、パスワード、および IP アドレスを入力します。次に [Import Controllers and Maps] をクリックして、最新のマップ変更を取得します。[Save] をクリックします。

- Cisco Prime から更新されたマップをダウンロードし、Cisco CMX On-Prem にアップロードします。
- Cisco Prime から更新されたマップをダウンロードし、Cisco Spaces の [Map Services] にアップロードします。

Cisco Spaces ランタイム

Cisco Spaces ランタイムに、次の新機能が追加されました。

エンタープライズ キャプティブ ポータルに対応するようになりました。

Cisco Spaces はエンタープライズ キャプティブ ポータルに対応するようになりました。このサポートにより、Wi-Fi に接続されているデバイスで、外部で開発されたキャプティブポータル（Cisco Spaces を使用して開発されたものではない）を使用できるようになります。現在、この機能はダッシュボードでサポートされていません。エンタープライズ キャプティブ ポータルを設定するには、Cisco Spaces サポートチームに連絡する必要があります。

リリース 1.3 の機能強化

Cisco Spaces ランタイム

Cisco Spaces ランタイムに次の変更が加えられました。

Subscriber API のリセット

Cisco Spaces の顧客がサブスクリバを削除できるようにする Reset Subscriber API は、より安全になりました。Reset API では、顧客名は顧客コードに置き換えられ、サブスクリバの詳細の外部操作を回避します。顧客コードは、内部 API を使用して生成できます。



(注) お客様コードがテナント ID、お客様 ID とは異なります。

視覚障がい者向けのアクセシビリティ

Cisco Spaces の機能が強化され、視覚障がいを持つ人々がキャプティブポータルとオンボーディングプロセスに完全にアクセスできるようになりました。キャプティブポータルの Web コンテンツ、およびオンボーディングプロセス中のナビゲーションでは、視覚障がい者のアクセシビリティをサポートするようになりました。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a～z）、N は任意の数字（0～9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

Cisco Bug Search Tool

シスコバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の問題：リリース 1.3

表 1: 未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCvp46851	散布図にカーソルを置くと、ツールチップに複数のポインターがあった。
CSCvo00172	累積統計：ロケーション数と AP 数が一致しない
CSCvo19097	ロケーションを削除した後、訪問者、Locupdate、および訪問データが N/A と表示される

解決済みの問題：リリース 1.3

このリリースでは、解決済みの問題はありません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。